

R8 年度 日新小学校 全国学力・学習状況調査の結果報告について

○国語

学習指導要領の内容6項目について記載（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）

本校の概要	分析	改善の方向
知識及び技能 (1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △全国平均を上回っている。 (2)「情報の扱い方に関する事項」 △全国平均を上回っている。 (3)「我が国の言語文化に関する事項」 △全国平均を上回っている。 思考力、判断力、表現力等 A「話すこと・聞くこと」 △全国平均を上回っている。 B「書くこと」 △全国平均を上回っている。	全ての内容で全国平均を上回っている。 全体の正答率に対し、「書くこと」の領域の正答率が他の領域に比べて低い。特に「文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く」内容での無回答が見られる。	書き出しの型を提示し、記述に対する抵抗感を和らげる手立てをしたり、文章を書く前段階として、情報の可視化や構成メモを活用し、思考を整理したりする学習の充実を図る。

記号の見方（全国平均と比べて）

△上回っている +3.1 ポイント以上

◇ほぼ同程度であるが、やや上回る 0～3 ポイント以内

◆ほぼ同程度であるが、やや下回る 0～3 ポイント以内

▼下回っている -3.1 ポイント以内

○算数

学習指導要領の領域5項目について記載（数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用）

本校の概要	分析	改善の方向
A「数と計算」 △全国平均を上回っている。 B「図形」 △全国平均を上回っている。 C「測定」 △全国平均を上回っている。 C「変化と関係」 △全国平均を上回っている。 D「データの活用」 △全国平均を上回っている。	全ての領域で全国平均を上回っている。 「変化と関係」の領域の正答率が他の領域に比べて低い。その中でも、割合・基準量の概念や二次元の表の読み取りに難しさが感じられた。	テープ図や数直線図などを効果的に活用し、変化と関係の可視化を充実させるなど、学習方法の工夫を図る。

○各教科を通したまとめ

国語、算数の各教科で、すべての内容・領域で全国平均を上回っています。全体として基礎・基本の定着が図られており、学習意欲の高さがうかがえます。今後も「学ぶ力」を育成していくために、全ての教育活動の中で、AAR サイクルの視点を基にした課題探究的な学習を推進、研修を重ねていきます。

※AAR サイクル…札幌市では OECD が提唱する教育の枠組み「ラーニング・コンパス 2030」に基づいた学習プロセス Anticipation（見通し）、Action（行動）、Reflection（振り返り）を基に課題探究的な学習を推進してきています。

○児童質問紙

札幌市実施報告書 3児童生徒質問の結果の概要「人間尊重の教育に係る質問」「さっぽろっ子自治的な活動に係る質問」「課題探究的な学習に係る質問」の質問の中から説明

成果

上記の内容の中から肯定的な回答の多い質問項目について

「人間尊重の教育に係る質問」

- (8) 自分には、よいところがあると思いますか
- (9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- (13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- (20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか

上記いずれの設問においても、全国平均を上回っています。特に「(8) 自分には、よいところがあると思いますか」において、最肯定肢（当てはまる）を選択した児童が全国平均を大きく上回り、自己肯定感の高さがうかがえます。学校・保護者・地域の連携やお互いの違いを認め合う温かい学級風土（安心感のある居場所づくり）がしっかりと児童を包み込んでいると考えています。

「さっぽろっ子自治的な活動に係る質問」

- (33) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- (49) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- (50) 学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

上記いずれの設問においても、全国平均を上回っています。札幌市が目指す「さっぽろっ子自治的な活動（特別活動での話し合いから自律的な行動へつなげる教育）」の実践が効果的に行われています。学級会で合意形成した決定事項を、児童一人一人が自身の行動目標に落とし込んで取り組むことができており、主体性や合意形成に向けた話し合いの力が付いてきていると考えています。

成果

上記の内容の中から肯定的な回答の多い質問項目について

「課題探究的な学習に係る質問」

(39) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

(41) 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

(36 1～4) ICT を使用した文書作成、情報収集、情報整理、プレゼン作成

上記いずれの設問においても、全国平均を上回っています。本校において、協働的な学びの場（グループワークや対話活動）が定着していることや、札幌市が進める GIGA スクール構想のもとで 1 人 1 台端末を効果的に活用し、自らの考えをまとめたり発信したりする探究的な学習技能が十分に高まっている成果と考えています。

課題

上記の内容の中から肯定的な回答の少ない質問項目について

「(22) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」

(学び方の工夫 自己調整学習)

「(44) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができと思う」

(学んだことの実生活への接続)

改善の方向

児童の強みである ICT 活用力や対話力を生かし、困ったときの解決ツール（ICT や図書等）の選択や、学んだことの身近な生活への活用など「学びの出口」を日常の授業で意識できるよう、単元構成等の工夫を通した学びの充実を図る。

※なお、札幌市 HP より札幌市全体の結果がご覧いただけます。

[全国学力・学習状況調査／札幌市 \(city.sapporo.jp\)](http://city.sapporo.jp)